発行：2025年1月5日　No.17

暮らしに希望を HOPE

市政れぽーと

日本共産党秋田市議団　TEL 888-5413　Fax 866-0998

市民の願い実現に 今年も頑張ります！

さとう純子・なら順子議員

11月議会は市民から7本の陳情が寄せられ、党市議団は全てに賛成し、さとう純子議員が賛成討論をしました。

学校給食無償化 動く!?

学校給食無償化の陳情に対し、市は財政状況を勘案しながら、実施に向け検討すると応えました。また、穂積市長も一般質問で市長選への思いを問われ、「小・中学校の給食無償化など子育て世代に対する一層の支援を図る」と答えました。

教育産業委員会では、なら順子議員が、「子育て世帯の切実な願い。義務教育は無償。学校給食は貴重な教育の場であり、すべての小中学生が対象で、平等、公正な税の使い方である」と賛成意見を述べました。

秋田市社会福祉協議会が来年度からホームヘルパー事業から撤退することに対し、利用者からは不安の声が寄せられています。事業撤退の理由は、過酷な労働実態や低賃金による担い手不足と、制度改正による収入減です。国民が安心して、医療、介護が受けられるよう、改善すべきです。

生活保護の障害加算の認定について、市内の開業医は複雑な精神障がい者の査定も身体障がい者と同様に、等級で加算してほしいと訴えています。「障害を理由とする差別解消を推進することを目的にする」条例を制定している秋田市議会として国に改正を求めるべきと、討論をしました。

しかし、他会派から、国がやるべき、財政が厳しいから予算編成を見て判断などの反対意見があり、不採択となりました。

その他、11月議会では、非課税世帯への福祉灯油、除雪費の増額などが決まりました。

議員報酬の引き上げや議員の厚生年金加入に関する意見書は可決・採択するのに 市民からの陳情は 不採択

主な陳情・請願に対する議員の態度 ○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席 表決数 35 ※議長は採決に加わらず	結果	共産党(2)		秋水会(8)								自民党(7)							フロンティア秋田(8)								そうせい(4)				公明党(4)				市民ク(2)	
		佐藤純子	奈良順子	小木田喜美雄	伊藤一栄	細川信二	荻原貴幸	渡辺正宏	佐藤宏悦	見上万里子	川口雅丈	小野寺誠	伊藤巧一	安井正浩	熊谷重隆	工藤知彦	工藤潤平	飯牟禮克年	小林一夫	倉田芳浩	工藤新一	佐藤哲治	藤田信	藤枝隆博	後藤良	船木純	菊地格夫	若松尚利	藤井翼	小松健	武田正子	石塚秀博	牧野守	佐藤佳人	花田清美	安井誠悦
医療・介護施設への支援拡充及び全てのケア労働者の賃上げ・人員増に関する意見書の提出について	○10 ×23 欠2 不採択	○		×								欠		×					○							×				×				×	欠
健康保険証廃止の中止に関する意見書の提出について	○7 ×26 欠2 不採択	○		×								欠		×					○				×	○	×	×				×				×	欠
精神障がいを有する被保護者の障害加算の認定について改正を求める意見書の提出について	○14 ×19 欠2 不採択	○		×								欠		×					○							○				×				×	欠
① 市立小・中学校給食費の無償化 ② 学校給食への安心・安全な地場農産物の活用	① ○14 ×19 欠2 不採択	○		×								欠		×					○				×		○	○				×				○	欠
	② ○15 ×18 欠2 不採択	○		×								欠		×					○							○				×				○	欠